

職場体験レポート

作成者

愛南町立内海中学校

2年 氏名：川本 未来斗



職場の紹介

宝水産有限会社

創業：平成13年9月
住所：愛媛県愛南町家串1121
従業員：15人

由良の海で育った鯛「ゆら鯛」
鯛のうま味を損なわないように塩で包んで焼いた「塩釜」
を主に全国各地に販売しています。
全養殖数は、当年魚30万匹、2年魚25万匹、3年魚25万匹、年間出荷尾数は鯛25万匹（300トン）です。

こんな職場です！



事業所の写真



職場で体験したこと



養殖場では、鯛の餌やりや出荷などを体験しました。餌やりの時に、鯛がたくさん寄ってきて餌を食べていました。とても面白かったです。出荷では、荷台に上がらせてもらい、運転手さんと一緒に上がった鯛を海水の入ったタンクに積み込む作業をしました。重くて、初めはうまく積み込むことはできませんでしたが、運転手さんに教えてもらいだんだんうまく積み込むことができるようになりました。トラックは大阪まで鯛を運んで行くそうです。大阪に着いて、またタンクから鯛を取り上げるのがとても大変だなと思いました。運転手さんはすごいなと思いました。

加工場では、商品になったものを箱に詰めていった

り、鯛の「塩釜」を作ったりしました。箱詰めは、加工場でさばいた鯛を袋詰めにして、それにシールなどを貼って箱に詰めていきました。注文の分だけ箱に詰めて箱をテープで止めていく作業をしました。少し難しかったです。「塩釜」は初めて作って2回目です。ようやく作ることができました。とてもうれしかったです。



体験学習を通して

うれしかったこと、うまくできたこと

鯛の餌やりをすると、鯛がたくさん寄ってきて餌を食べていました。とてもすごかったです。

鯛の「塩釜」を作らせてもらって、2回目で上手く作ることができました。うれしかったです。またできたならやりたいなと思いました。

大変だったこと、失敗したこと

餌やりの時、1日だけ風が強くてとても寒かったです。波もあって餌やりをするのがとても大変でした。運よく5日間の中で雨の日はありませんでしたが、海で働く人は雨の日でも沖に行きたくて働いてとてもすごいなと思いました。



感想

働く人の姿から学んだこと

職場の人たちは、雨の日でも、風が強い日でも海に行きたくて仕事をしていて、とてもかっこいいなと思いました。毎日大変な仕事でも休まず行きて働いていて、僕も将来こんな大人になりたいなと思いました。

全体を通して学んだこと

海で働くことは、とても大変なことが改めて分かりました。この会社は、鯛を育てて商品に加工するまでを行っており、僕はそのどちらとも行くことができ、とてもよい体験ができました。魚を含め他の食べ物も感謝して食べたいと思いました。

